

環境定量目標の検討に役立つQA

2025.10/1 (水)

時間 16:00～17:10
形式 Zoomウェビナー

公益財団法人リバーフロント研究所 自然環境グループ
主任研究員 白尾 豪宏

国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター
センター長 森 照貴

●プログラム

時間	題目	講演者
16:00～	河川環境行政の動向	鶴田 舞
16:05～	環境定量目標の検討に役立つQAの紹介	白尾 豪宏
16:25～	Q9-1 自然環境に関連した河川整備を実施する上で、モニタリングのポイントを教えてください。	森 照貴
16:45～	意見交換	

近年、国管理区間の河川整備計画において、河川整備によって保全・創出を目指す「生物の生息・生育・繁殖の場」に関する定量的な目標を位置付ける取組が展開されています。今回のセミナーでは、環境の定量目標を検討するにあたって役立つQAを幅広く紹介するとともに、具体例として今年度改訂したQ9-1について解説します。

●大河川における多自然川づくりセミナーの目的

本セミナーは、「大河川における多自然川づくり～Q&A形式で理解を深める～」を基に、複数回に渡り、大河川における多自然川づくりへの理解を深めることを目的としています。

●大河川における多自然川づくり～Q&A形式で理解を深める～とは？

本書では、大河川における多自然川づくりを実践するため、現場で直面する課題をQuestionとし、これにAnswerとして答える形式で、これまで日本が蓄積してきた知見が分かり易く紹介されています。

※本Q&Aのダウンロードはこちらから

https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/tashizen/qa.html

お申込み方法

下記URLまたはQRコードから、お申し込みください。

<https://forms.gle/P3GJ9m2izUi48WVN9>



参加無料
先着500名

※土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたし兼ねます



大河川における多自然川づくり

— Q & A 形式で理解を深める —

平成31年3月
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

(令和7年8月一部改訂)



事務局 公益財団法人リバーフロント研究所（リバフロサポートセンター）

お問合せ：daikasen2021@rfc.or.jp 担当：崎谷・吉川